

静岡がんセンターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

①対象者	微小管脱重合阻害作用をもつタキサン系の抗がん剤の投与患者			
②研究課題名	ドセタキセル投与後に偽ペルゲル核異常を認めた 1 症例			
③実施予定期間	倫理審査委員会承認日 ~ 2022 年 3 月			
④実施機関	静岡がんセンター			
⑤研究代表者	氏名	梁瀬 博文	所属	静岡がんセンター 血液管理室
⑥当院の研究代表者	氏名	梁瀬 博文	所属	静岡がんセンター 血液管理室
⑦使用する検体・データ	微小管脱重合阻害作用をもつタキサン系の抗がん剤の投与患者 血球計算(WBC、RBC、Hb、MCV、PLT) 血液像(Stab、Seg、Ly、Mono、Eo、Baso) PSA			
⑧目的	血液像を鏡検する上で好中球の形態異常を発見し MDS 等の血液疾患を拾い上げることは重要であるが、化学療法患者の一時的な形態異常でも散見される為、判断に支障をきたすことが懸念される。微小管脱重合阻害作用をもつタキサン系の抗がん剤の投与患者へは、MDS で見られる偽ペルゲル核異常との鑑別が重要であると考えます。			
⑨方法	骨髓異形成症候群(MDS)などに特徴的にみられる好中球低分葉核異常は、偽ペルゲル核異常として区別されその診断に有用かつ重要な所見である。今回、前立腺がん患者へタキサン系の抗がん剤の一つであるドセタキセルを投与後に末梢血標本に偽ペルゲル核異常を認められたので症例を交えて報告する。			
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日	2021 年 4 月 13 日		
⑪公表	研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。			
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報を使用しません。			
⑬知的財産権	知的財産に関する権利（特許権等）は、静岡がんセンターに属します。			
⑭利益相反	本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。			
⑮資料の参照	本研究について詳しく知りたい場合は、臨床研究事務局までご連絡ください。			
⑯問い合わせ	連絡先	臨床研究事務局	電話	055-989-5222（内線 3379）
	事務局にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。 後日、あらためて研究者より直接回答いたします。			

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。

静岡がんセンター病院長